

町 長	副町長	教育長	課 長	主 幹	スタッフ	合 議



令和3年度第1回
上富良野町総合教育会議 会議録



令和3年12月2日

令和3年度第1回上富良野町総合教育会議会議録

- 1 開催日時 令和3年12月2日(木)
- 2 開催場所 上富良野町役場3階第2会議室
- 3 出席した者 構成員(6名)
 - ・上富良野町長 齊藤 繁
 - ・上富良野町教育委員会教育長 服部 久和
 - ・上富良野町教育委員会委員 林 憲億
 - ・上富良野町教育委員会委員 三熊 邦彦
 - ・上富良野町教育委員会委員 久保 麻子
 - ・上富良野町教育委員会委員 四釜 充啓事務局他(6名)
 - ・教育振興課長 林 敬永
 - ・教育振興課学校教育班主幹 安井 民子
 - ・教育振興課社会教育班主幹 吉澤 大輔
 - ・教育振興課心の教育担当主幹 松田 剛
 - ・総務課総務班主幹 上村 正人
 - ・総務課総務班主事 信田 勇気
- 4 協議事件 (1) 令和4年度教育大綱の重点施策を実現するための取組・課題について
(2) 小・中学校における不登校の状況について
- 5 開会宣言 午後2時00分
- 6 あいさつ 省略
- 7 協議事件の要旨 次のとおり

発言者	協議事件の要旨及び内容
林課長	<p>令和4年度教育大綱の重点施策を実現するための取組・課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別紙教育大綱に掲げる重点施策の現状及び取組について説明 (内容省略)
斉藤町長	<ul style="list-style-type: none"> ・私としましては、令和4年度重点課題全6項目のうち、1番の新型コロナウイルス感染症予防対策についてですが、学校などの子どもが多く集まる場所において、クラスターが起きては困るという思いが非常に強かったのですが、結果的にはそういう状態にはならずによかったと感じています。引き続き、皆さんに安心・安全に過ごしてもらうために対策を行っていくことが大切であると考えております。 ・次に重点課題5番の上富良野高校の存続についてですが、最近、募集定員が割れて存続が危ぶまれている時期もありますが、取り組みの成果として、去年と同じように、希望者が30名近くおまして、廃校という話にはならずに一安心しております。給食のサービスなども追加したように、引き続き存続させていく取り組みをしていかなければならないと思っております。
斉藤町長	<ul style="list-style-type: none"> ・皆様から意見などはありますでしょうか。
林委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先日、中学校に訪問しまして、2年生全体が80人で2クラスということですが、あと一人増えたら3クラスになるということだったので、個人的には3クラスになってほしいという思いがあります。難しい部分ではあるかと思いますが、その辺に関してはどうでしょうか。
服部教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、小学校1・2年生と中学校1年生は1クラス35人学級となっており、71人いれば3クラスになるのですが、その中に特別支援学級に行く生徒もいますので、そうすると3クラスにするのは難しい状況にあります。
斉藤町長	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少や少子化などの問題に歯止めをかけるような施策を今後おこなっていかねばいけないと考えております。
斉藤町長	<ul style="list-style-type: none"> ・他に意見などありますでしょうか。
四釜委員	<ul style="list-style-type: none"> ・重点課題2番の学校ICT環境整備についてですが、先日、学校訪問をさせていただいて、小学校のみですけれども、大型のモニターを設置しているということで、昨年と比べても非常に画面がみやすく、集中力という部分においても向上していると感じました。そういった整備に関して早急に対応したことは非

	<p>常に良かったと感じます。中学校についても、来年度以降に導入できればと思いました。タブレットでの授業が増えているということで、小学校低学年でも、ローマ字などを覚える良い環境になっているようで、私自身の小学校時代と比較しても、各段に授業環境が良くなっていると感じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点課題6番の働き方改革についてですが、様々な理由があって、町外から通勤している先生方が多いと思いますが、一人暮らしの方や、町内で部屋を探すという状況の中で、上富良野町のアパートの家賃が高いという現状にあるので、先生方が町内に住める環境や上富良野町を選んでもらえるような環境づくりを今後していくことが、働き方改革に繋がると感じました。
斉藤町長	<ul style="list-style-type: none"> ・町としましては、学校の先生やそれ以外の方も含めて、上富良野町に住んでもらえるような施策を今後進めていかなければならないと考えております。
斉藤町長	<ul style="list-style-type: none"> ・他に意見などありますでしょうか。
三熊委員	<ul style="list-style-type: none"> ・重点課題5番の上富良野高校存続につきまして、光回線の整備が進められている中で、現状は上富良野高校のオンラインの整備や進捗状況についてどうなっているのでしょうか。
林課長	<ul style="list-style-type: none"> ・上富良野高校では、校内ネットワークを既に整備し終わっており、来年度から各生徒が学校にタブレットを持参する環境は整っているところであります。あとは、生徒を指導する先生の能力向上やそのための研修を実施していくことが必要となっております。
三熊委員	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いた話ですが、他町村・北海道内の高校でも行政がお金をだして実施しているということであったがそういった部分についてはどうでしょうか。
林課長	<ul style="list-style-type: none"> ・指導する部分については、北海道教育委員会もそうですけど、文部科学省が専門の人を派遣しますよということで、希望する教育委員会があれば手を挙げる流れになっております。上富良野高校でも、若い先生は普段からパソコンを使用しているので、上富良野高校においてはそういった先生を希望することはないと聞いております。既に先生方がアイパッドを使用したり、さらには子供たちがそれぞれパソコンを家に持ち帰って使用していますので、小中学校より遥かにいいと先生方から聞いています。
四釜委員	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の光回線の整備の進捗状況はどうなっているのでしょうか。
上村主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・本町においては、予定通り進んでおり、令和4年の春には開通する見込みと

<p>斉藤町長</p>	<p>なっておりますが、あくまでも見込みであり、みなさんに公表できる状況にはなっていないとのことです。全国的に実施していますので、物資の調達が行き届かない所もあるということで、今後どうなるかわからないのが正直な部分でもあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他に意見などありますでしょうか。
<p>久保委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重点課題 5 の上富良野高校存続についてですが、高校の選択の幅が広がり、旭川市の方に受験する生徒が増えたと思うのですが、今後上富良野高校存続の危機が来たときのために、何か対策を考えた方がいいと思うのですが、その部分については何かありますでしょうか。
<p>服部教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に上富良野高校の体験入学に 46 人の方がこられて安心していただいていた部分がありましたが、来月に入学の願書を出すとなっている中で、少し苦戦しそうな状況にあり、20 人いるかないかというところになっております。体験入学では、多くの生徒が来ましたが、お互いに牽制しあう状況になってしまったのも否定できない部分ではあります。 ・そういった中で、上富良野高校としての特色を今よりも増やしていき、上富良野高校を選択してもらえるような取り組みを行うことが重要であると考えております。
<p>林課長</p>	<p>小・中学校における不登校の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別紙資料（全 5 ページ）により説明 (内容省略)
<p>斉藤町長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町としましては、教育委員会からも説明ありましたとおり、平成 30 年度から松田臨床心理士をむかえてカウンセラーなどの対応を図っておりますが、全国的にいえることではあります。上富良野町のような比較的小さい町でも、昔と比べると不登校の数は増えていると感じます。学校だけではなく、町として原因は何かを追及し、対応していかなければならない問題とっております。
<p>斉藤町長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・松田先生自身、学校にいらっしゃいますが思うこと・感じることはありませんでしょうか。
<p>松田臨床心理士</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体感的にも、学校に行きたくても行けない子供達の数が増えているのは間違いないと思います。私が個人的に気を付けた方がいいと思っているのは、例えば、小中学校における不登校の状況について、いじめからはじまり、主な要因として無気力とありますが、これを鵜呑みにしすぎると違う話になってくると

	<p>思います。こういったケースは複雑に絡みあっており、これといったものがわからなく、複合的な要因で学校にいけない状況になっていると捉える方が現状により近いと思います。なので、原因をつぶさないと問題が解決しないって思ってしまうと違う方向にいつてしまう可能性があります。そうではなく、そういった状態になっている子供を回りの大人がうまくとりこんでいくような、いわゆるチームでやっいていこうという雰囲気をいかに作れるかが重要であると私自身思っております。</p>
三熊委員	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校になった子供については、親から先生の方へ相談に行かれるのか、または子供が直接先生に相談するのかわちらがケースとしては多いのでしょうか。
松田臨床心理士	<ul style="list-style-type: none"> ・本人と関わるかと言われますと、全部が全部そうではなく、半分程は本人と関わらずに親と相談するのみという状況になっております。私が思うには、家庭が問題ということではなく、親が子供といかに向き合うかで、子供の状況が変わっていくことはあります。親が家庭で子供と一緒に考え、向き合っていくことが一番重要と考えております。
斉藤町長	<ul style="list-style-type: none"> ・他に意見などありますでしょうか。
久保委員	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校3年生あたりから不登校になっていく子供が出てきて、その流れで中学校にも影響が出ているように感じますが、何か取り組みはされているのでしょうか。
松田臨床心理士	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校3年生あたりから、勉強が難しくなってきたりしております。書いたり読んだりすることが元々苦手な子供は負担が増えてきて、学校に行かなくなる子供が出てきたりしているのではないかと考えております。 ・今後としては小学校の先生方も含めて、取り組めることは何かを模索していかなければならないと私自身考えています。
斉藤町長	<ul style="list-style-type: none"> ・最後にその他としまして、給食センターの老朽化などが進み、建て替えをするのか、または将来の子供の人数が減っていくようであれば給食センターを広域連合として1つにした方がいいのかなどを含めて、今後どうしていくべきか検討していく必要があると考えております。
斉藤町長	<ul style="list-style-type: none"> ・他に意見等なければ、本会議で確認した事項については、しっかりと取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続きご協力お願いしまして閉会させていただきます。

8 閉会宣言 午後 15 時 10 分

上記会議の経過は、書記の調製したものであるが、その内容の正確なることを証するため、ここに署名する。

令和3年12月21日

上 富 良 野 町 長

上富良野町教育委員会教育長